

【事業者向け】 児童発達支援自己評価表

事業所名 特定非営利活動法人ふらっと

アンケート開始日 令和3年2月15日 回答総数:13人

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	職員の配置数は適切であるか	7	6	0	・コロナ禍によりその日による。(交代制のため)
	2	事業所の設備等について、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	9	4	0	
業務改善	3	業務改善のための目標設定や振り返りに、広く職員が参画しているか	11	2	0	
	4	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	11	2	0	
適切な支援の提供	5	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、児童発達支援計画書を作成しているか	11	2	0	
	6	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	6	0	
	7	定期的に、職員間で打ち合わせを行い、行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	12	1	0	・記録を通して共有している。
	8	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	1	0	
	9	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	4	0	
関係機関や保護者との連携	10	障害者相談支援事業所のサービス担当者会議に、その子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	11	2	0	
	11	その他の療育機関との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの状態確認等)、連絡調整(緊急時の連絡)を適切に行っているか	10	3	0	
	12	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医と連絡体制を整えているか	7	6	0	・相談支援専門員より情報を得ている。 ・保護者や相談支援専門員を通して連絡をしている。 ・カンファレンスなどを通して、主治医と直接連絡をとることもある。
	13	保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	4	0	・保護者や相談支援専門員を通して連絡をしている。
	14	学校や、放課後等デイサービス事業所など障害福祉サービス事業所へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	9	4	0	

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
	15	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	4	7	2	・コロナの影響もあり難しかった。
	16	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	11	2	0	
保護者への説明責任など	17	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	2	0	
	18	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	3	0	
	19	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	12	1	0	
	20	個人情報に十分注意しているか	13	0	0	
	21	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	12	1	0	
	22	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	11	2	0	・コロナの影響もあり難しかったが、ZOOMなどを活用し、親睦に務めた。
非常時	23	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	13	0	0	・コロナウイルスのクラスター訓練もやり、感染対策に務めた。
	24	食物アレルギーのある子どもについて、適切に対応がされているか	12	1	0	
	25	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	2	0	・定例会議で振り返り、共有している。